

空間と自分

— space designer 能方 聖吾



「好きなことが道になる」 自分だけのライフスタイル

市内はもとより全国で空間デザイナーとして活躍する能方聖吾さん（45歳）。幼い頃から、父の手仕事を間近で見たり、父の手仕事を自ら改装したり、家具や施設を作ったりしていた父の背中には、「自分の手で価値を生み出す喜び」がありました。その影響を受け、自然とものづくりへの関心が芽生えた彼は、長崎大学工学部に進学。ロボットや機械システム工学を学び、卒業後はフォークリフトの製造会社に就職。設計・検査を担いました。しかしある日、「設計は楽しい。でも毎朝同じ時間に起き、同じように出社し、同じことを繰り返す生活は、自分には合わない。」と未来の時間の使い方を真剣に考え、2年間勤めた会社を退職しました。

その後、30歳を過ぎて出会

ったのがクライミング。仲間との挑戦はやがて事業へと繋がりが、福岡市東区・筑紫野市でボルダリング施設を開業。2017年に榎ATWALLを設立し、行橋市にESCAPE COFFEE & CLIMBINGをオープンしました。今や地域の人気スポットとなり、クライマーや子どもたち、カフェを楽しむ人で賑わっています。

2020年には榎スリーダブリュを設立。保育園やショッピングモールなどの施設に、クライミングウォールやトランポリンを設置する事業を全国で展開。「遊び」を通じて、人と地域を繋ぐ役割を担っています。両社の代表としての経験を生かし、現在は空間デザイナーとして店舗デザイン、施工、イベント企画を手掛けています。今年

は大分県九重町に湯坪温泉宿BEIGEを開業。また、10月には自身が開業した行橋檸檬の2階に「生活」をオープン。全て古民家や空きテナントを自らリノベーションしたものです。

「いろんな事業をやっているように見えますが、まだまだ途中です。ただただ好きなことをやっているだけなんです。自分の仕事は『境界線を超える瞬間』が魅力です。空き家や古家など無価値だと思われていた空間が、手を加えることで光り始める。その変化が見える「境界線を超える」瞬間の喜びは、計り知れません。ピフォアアフターに感動し、共感してくれる人の声が何よりの励みです」。

彼の人生は、好きを仕事に変えることで広がっていつています。あなたの「好き」も、必ず誰かの価値になる日が来るかもしれません。

shop data

生活

中央2-6-2-2F

OPEN 15:00-23:00

問い合わせおよび店休日等の情報は、右記Instagramから



Instagram

脱サラから起業一、様々な経歴を持ち「好きなこと」を思い切り楽しみながら働く能方さん。カフェ「生活」で、就職や進学、起業のことなど気軽に相談してみませんか？「生活」は、悩んでいる方が前に進めるハブとなれるような場所をめざしています。